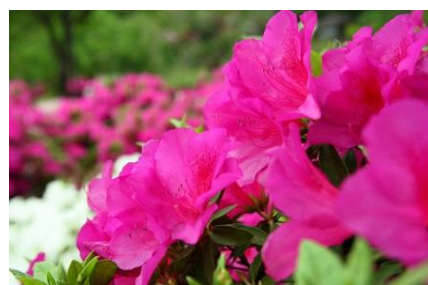


平成 30 年度 当初予算の概要



鯖江市

目 次

1	予算規模	1
2	未来を担う子どもたちのための施策	4
	【財政規律の堅持】	
	(1) 財政調整基金残高、市債残高とまち・ひと・しごと創生総合戦略	
	(2) 一般会計の市債残高の推移	
	(3) 市債残高のうち実質的な負担額	
	(4) 実質公債費比率、将来負担比率	
	【子どもたちへの投資】	
3	歳入の確保	6
	(1) ふるさと納税制度の変遷と本市の取組み	
	(2) 平成30年度における変更点	
	(3) 本市のふるさと納税の推移	
	(4) 平成29年度「F×Gさばえ」の実績	
	(5) クラウドファンディング「FAAVOさばえ」の活用	
	(6) 「FAAVOさばえ」の現状	
4	市民生活向上・本市発展のための新しい取組み <新規事業>	8
5	歳出のポイント	11
6	歳入のポイント	20
7	平成30年度鯖江市一般会計当初予算の状況	21
	歳 入	21
	歳 出（目的別）	25
	歳 出（性質別）	29
8	平成30年度鯖江市当初予算における基金現在高	34
9	平成30年度鯖江市当初予算における市債現在高	35

平成30年度当初予算のポイント

1 予算規模

〈一般会計の当初予算規模は過去3番目〉

一般会計の予算規模は過去3番目の **253 億 300 万円**（対前年度比 1.2 % 増）

～ 本市は、眼鏡・繊維・漆器・農業・ITなどの産業をはじめ、市民協働のまちづくりや学生など若い人たちとの交流、さらには歴史・伝統・文化・自然など、豊かな地域資源に満ち溢れています。これらの地域資源にさらに磨きをかけ、「世界にはばたく地域ブランドめがねのまちさばえ」を国内外に積極的に情報発信することで、地域全体のブランド力が向上し、新たな産業や文化、地域資源を創造する原動力が生み出され、市民の「ふるさと愛」への誇りと自信が一層高まることが期待されています。

また、本市に先人から伝わる素晴らしい地域資源やお互い様の市民性を未来につなぐことは重要であり、持続可能な地域社会の構築に繋がるものです。市民や企業等が有する遊休資産やスキル等をシェア（共有）することで、共助により様々な地域課題の解決を図り、地域経済を活性化する「シェアリングエコノミー」の取組みや、本市の地域特性を活かした「女性活躍」「環境」「健康福祉」を重点的に推進していきます。

一方で、社会保障費や教育費の伸びなどによる一般財源の不足に対処するため、経常経費の削減や自主財源の確保に努めるなど、将来を担う子や孫に過大な負担を残さず、100年後もめがねのまちさばえが残る、持続可能な自治体経営の確立に向けた予算編成としました。～

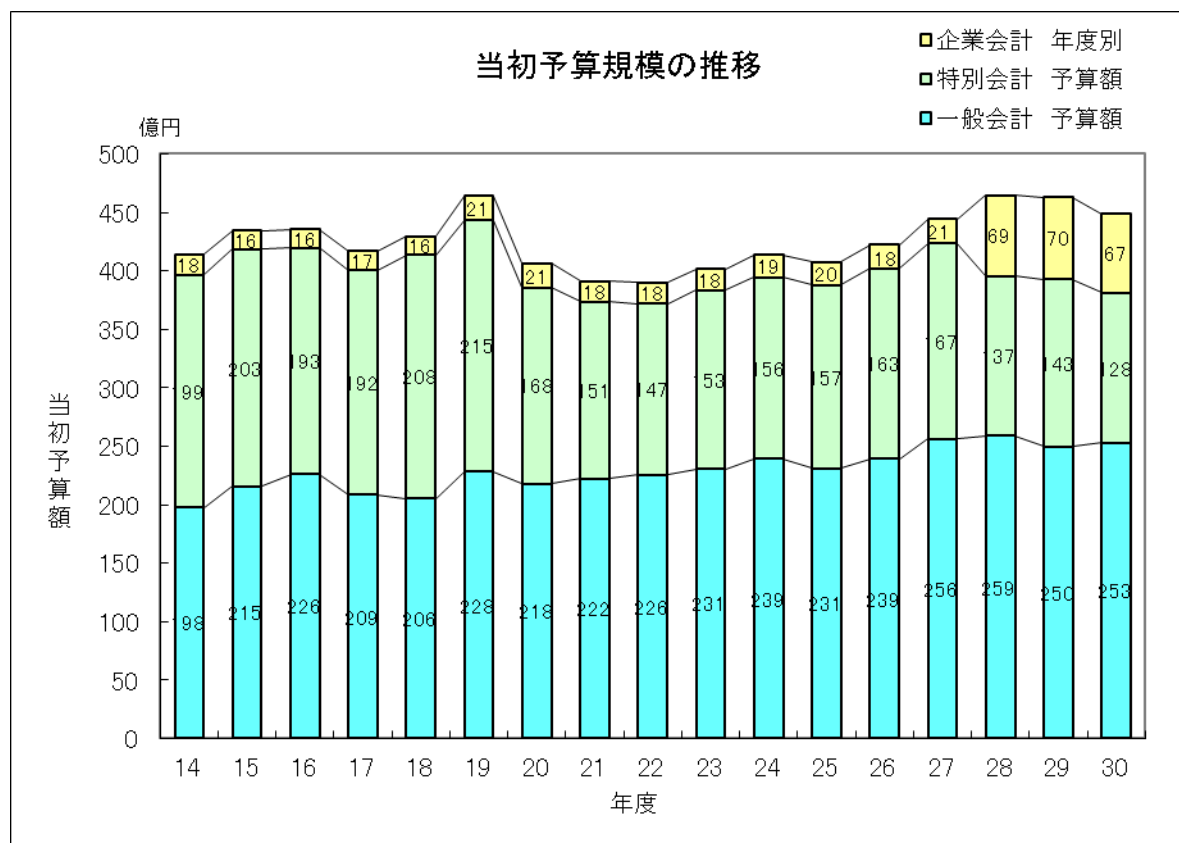
平成30年度当初予算キャッチフレーズ

『持続可能な めがねのまちさばえ』

（単位：千円・％）

会 計 名		平成30年度 ①	平成29年度 ②	増減額 ③(①－②)	増減率 ③/②
一 般 会 計		25,303,000	24,996,000	307,000	1.2
特別会計	国民健康保険事業特別会計	6,498,000	8,079,000	△1,581,000	△19.6
	後期高齢者医療特別会計	719,300	654,300	65,000	9.9
	介護保険事業特別会計	5,581,100	5,562,200	18,900	0.3
	総合開発事業特別会計	8,000	8,000	0	0.0
	小 計	12,806,400	14,303,500	△1,497,100	△10.5
企業会計	水道事業会計	2,037,000	2,101,300	△64,300	△3.1
	公共下水道事業会計	4,064,500	4,243,400	△178,900	△4.2
	農業集落排水事業会計	637,900	641,600	△3,700	△0.6
合 計		44,848,800	46,285,800	△1,437,000	△3.1

(1) 全会計の予算規模の推移（当初予算ベース）



(2) 一般会計の当初予算規模（平成30年度は過去3番目）

1番	平成28年度	259億1,000万円
2番	平成27年度	256億3,600万円
3番	平成30年度	253億 300万円
4番	平成29年度	249億9,600万円
5番	平成 9年度	247億6,800万円

(3) 全会計の当初予算規模（平成30年度は過去4番目）

1番	平成28年度	464億7,720万円
2番	平成19年度	463億9,030万円
3番	平成29年度	462億8,580万円
4番	平成30年度	448億4,880万円
5番	平成13年度	445億8,380万円

(4) 特別会計・企業会計の予算計上額

(単位：千円・%)

① 鯖江市国民健康保険事業特別会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
6,498,000	8,079,000	△1,581,000	△19.6

財政運営主体の県移行に伴う拠出金および負担金の減により、予算額が減少しました。

② 鯖江市後期高齢者医療特別会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
719,300	654,300	65,000	9.9

後期高齢者医療広域連合の保険料値上げにより、予算額が増加しました。

③ 鯖江市介護保険事業特別会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
5,581,100	5,562,200	18,900	0.3

介護予防・日常生活支援総合事業の完全実施による地域支援事業費の増により、予算額が増加しました。

④ 鯖江市総合開発事業特別会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
8,000	8,000	0	0.0

前年度と同じ予算額となりました。

⑤ 鯖江市水道事業会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
2,037,000	2,101,300	△64,300	△3.1

建設改良費の減により、予算額が減少しました。

⑥ 鯖江市公共下水道事業会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
4,064,500	4,243,400	△178,900	△4.2

建設改良費の減により、予算額が減少しました。

⑦ 鯖江市農業集落排水事業会計

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
637,900	641,600	△3,700	△0.6

営業費用の減により、予算額が減少しました。

2 未来を担う子どもたちのための施策

財政規律の堅持 ＜未来を担う子どもたちに負担を残しません！＞

(1) 平成30年度当初予算ベースでの財政調整基金残高、市債残高の見込

○財政調整基金残高（平成30年度当初予算時の残高見込） 28億2,020万円

＜まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値25億円以上を堅持！＞

平成27年11月策定の鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、平成30年度末の目標数値を25億円以上の確保としています。平成30年度末では28億2,020万円の確保が見込まれており、目標数値を達成する見込みです。今後は市税の減少や扶助費の増等により減少が予想されますが、堅実な財政運営を心がけ、緊急時の財源や将来への備えとし、未来を担う子どもたちに過大な負担を残しません。

○一般会計市債残高（平成30年度末残高見込） 257億2,460万円

＜毎年確実に借金を減らしています！将来に過大な負担を残しません！＞

平成30年度末の市債残高見込は、鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値（臨時財政対策債を除いた市債）を約12億500万円下回っています。平成25年度から26年度にかけて庁舎や小中学校の耐震改修および豊小学校建設等の大型事業が集中したことに加え、27年度も総合体育館の耐震改修に有利な緊急防災・減災事業債を活用するために事業を前倒したにも関わらず、普通債の発行額を抑制したため大幅に下回りました。新規の起債発行額を起債元金償還額以下に抑制しているため、市債残高は毎年着実に減少しており健全財政を維持しています。

（単位：百万円）

区分	平成30年度末 (残高見込) ①	平成30年度末 (総合戦略)②	差引額 ①－②
市債残高	25,725	26,300	△575
うち臨時財政対策債	11,630	11,000	630
うち普通債	14,095	15,300	△1,205

(2) 一般会計の市債残高の推移

（単位：億円）

年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H10	H12
年度末残高	152.6	170.0	229.2	250.7	267.7	305.6	314.0	311.3	307.2
年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
年度末残高	301.1	295.6	295.9	294.8	302.1	296.6	302.0	294.3	285.7
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
年度末残高	285.2	279.5	269.3	266.7	265.7	265.6	262.8	259.5	257.2

*平成28年度までは決算額。29年度は決算見込（繰越除く）。30年度は当初予算時

(3) 市債残高のうち実質的な負担額は約33%です。（67%は交付税措置されます。）

平成30年度末の市債残高見込額約257億2,460万円の内訳は、普通建設事業債等が約140億9,470万円、臨時財政対策債が約116億2,990万円です。臨時財政対策債は交付税の振替であるため後年度に100%普通交付税で措置されます。

また、普通建設事業債も、事業費補正により後年度に交付税措置があるいわゆる優良債を中心に借入を行っており、約40%が普通交付税で措置される見込みです。そのため平成30年度末の市債残高見込額のうち市が自主財源で償還しなければならない実質的な負担額は、約84億5,640万円となります。今後も毎年実質負担を減らしていけるよう、更なる市債残高の減少と優良債の借りに努めます。

(4) 実質公債費比率、将来負担比率は良好な水準！<今後も良好な水準を維持！>

実質公債費比率、将来負担比率のいずれも極めて良好な水準を維持できる見込です。

特に、将来負担比率は、地方公共団体の借入金等将来負担しなければならない負債等の、基金残高や財産、将来見込める歳入の額に対する比率であり、本市はマイナスとなっており現在の所心配はいりません。

主な財政指標				(%)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度見込	平成30年度見込
実質公債費比率	10.6	10.1	10.0	9.8
将来負担比率	7.2	— (△0.8)	— (△1.0)	— (△1.2)

子どもたちへの投資<50年後、100年後を見据えた人材育成を行います！>

平成32年度から実施される新学習指導要領への対応として、新たに実施されるプログラミング教育が学校現場で円滑に実施されるよう、平成30年度から全ての小中学校でプログラミングを取り入れたクラブ活動を実施します。また、算数や英語などの教科指導の中でのプログラミング活用方法の研究を提案型市民主役事業により行います。

平成30年度から福井県内の小学校で前倒しで実施される5・6年生の英語の教科化および3・4年生の外国語活動の導入に関しては、外国人英語教師の派遣回数を増加することにより英語教育の充実を図り、グローバルな人材の育成を支援していきます。

次に、子どもたち一人ひとりの特性に応じた教育の充実を図るため、市学習生活支援員を増員するとともに、不登校対策として学校復帰支援員を増員し、全ての中学校に配置します。

更に、チャイルドセンター指導員を増員することでセンターとしての機能強化を図り、本市の将来を担う児童生徒の自立を支援します。

また、教師の多忙化への対応として、全小中学校に学校運営支援員を配置するとともに、中学校教師の部活動の負担軽減への対応として、全中学校に部活動支援員を配置することで、教師が児童生徒への指導や教材研究等に力を注ぐことができる環境整備を図っていきます。

	平成29年度	平成30年度
1 英語に親しむ活動	小学校4～6年 外国人教師を各小学校へ派遣	小学校3～6年 時間数を拡大し各小学校へ派遣
2 学校生活・学習支援 (学習支援員)	学習や生活上特別な支援を必要とする児童生徒を対象に36人配置	個に応じた教育活動推進のために 1人増員 計＝37人
3 学校生活・学習支援 (復帰支援員)	中学校で学級に入れない相談室登校生対応で鯖江・中央に1人配置	対象生徒の増加により、1人増員し、各中学校に1人ずつ配置
4 不登校対策(チャイルドセンター職員)	不登校の児童生徒の自立支援、学校復帰支援のために3名配置	週2日勤務の相談員を新たに追加し、4名配置とする
5 遠隔事業・研修用 パソコン	各小中学校に1セットを整備	各小中学校に2セット目を整備
6 学校運営支援員		学習プリントの印刷等を教員に変わり行うサポートスタッフを各小中学校に1人ずつ配置
7 部活動指導員	中学校部活動に部活動支援員2人配置(中央・東陽)	現状に1人追加して各中学校1人ずつ配置(鯖江・中央・東陽)

3 歳入の確保<少子高齢化社会に対応するために新たな歳入確保に努めます！>

(1) ふるさと納税制度の変遷と本市の取組み

ふるさと納税制度は、平成20年から始まりました。個人住民税の寄附金税制が拡充されたものであり、地方自治体に対する寄附のうち2,000円を超える部分について、個人住民税所得割額の概ね2割を上限とする金額が所得税と合わせて控除されます。

各自治体が工夫を凝らしつつふるさと納税の獲得に力を入れており、本市でもポイント制やクレジットカード決済の導入を行いました。

平成28年10月にはクラウドファンディング型ふるさと納税Webサイト「F×G(エフバイジー)さばえ」を立ち上げるなど、全国初の取組みも積極的に導入するとともに、ふるさと納税サイトである「ふるさとチョイス」の利用や返礼品の大幅な見直しにより、平成30年2月1日現在のふるさと納税寄附金は平成28年度に比べ約8,700万円増の約1億8,180万円となっています。

(2) 平成30年度における変更点

今後もより積極的なPR行い、本市に愛着を持っていただけるよう努力しつつ財源確保に努めます。平成30年度も、「F×Gさばえ」に各部最低1事業を掲載するなどして全職員が本市のPRを務める営業マンとなる体制を確立します。

また、現在利用している「ふるさとチョイス」に加え、「さとふる」や「ANAのふるさと納税」といった新しいサイトを利用することで、新たな支援層の確保を図り、29年度を大きく上回る2億5,000万円を予算化しました。

本市のふるさと納税の主な変更点

	平成29年度	平成30年度
お礼品	・1万円以上の寄附者にポイント付与 ・お礼品の全面的見直し (新商品開発でFAAVOを活用)	・1万円以上の寄附者にポイント付与 ・お礼品の見直しと更なる開拓 ・他自治体との相互連携
サイト	・ふるさとチョイス	・ふるさとチョイス ・さとふる ・ANAのふるさと納税
PR方法	・県外イベントを利用したPR ・帰省時期に特別PR隊	・県外イベントを利用したPR ・ふるさと納税の全国規模のイベント参加 ・首都圏、関西圏での年間を通したPR ・ANAの機内誌やインターネット広告 ・空港のANAショップでのふるさと納税のお礼の品の販売

(3) 本市のふるさと納税の推移

ふるさと納税の寄附金額と件数の推移 (単位：千円・件)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
寄附金額	3,845	4,436	3,056	5,784	4,861	6,520	75,732	94,734	181,800
件数	31	46	30	42	58	130	894	950	3,188

* H29は2/1現在の金額・件数

(4) 平成29年度 F×G (エフバイジー) さばえの実績

F×G掲載事業と寄附金額			(単位：千円)
担 当 部	事 業 名	事業費(目標額)	寄附金額
総務部	提案型市民主役事業	30,426	510
政策経営部	吹奏楽フェスティバル	4,800	3,925
政策経営部	大人ファーストめがね	6,000	5,800
健康福祉部	目の健康づくり	3,000	620
産業環境部	河和田アートキャンプ	1,000	1,936
都市整備部	メガネストリート第2弾	20,000	1,260
教育委員会	図書購入	15,000	1,328
計		80,226	15,579

(5) クラウドファンディング「FAAVOさばえ」の活用

平成26年12月に、全国の自治体で初めてクラウドファンディングの運営主体となってスタートした「FAAVOさばえ」については、全国からあたたかいご理解やご支援を賜り、運営開始から現在までに、起案した30事業全てが目標達成となりました。

現在も1事業が募集中であるほか、新しい事業も掲載に向けて準備を進めています。

今後も市の事業の財源として積極的に活用していくほか、個人・団体・企業等が資金調達を行う際のサポートをし、アイデアや夢の実現を応援していきます。

また、市内企業等がふるさと納税のお礼品を開発する際の資金調達手段として活用するほか、鯖江のビジネス活性化や文化や自然を守るプロジェクトを継続的に展開し、鯖江の魅力を全国に発信していきます。

(6) 「FAAVOさばえ」の現状 (2/1現在)

① 募集事業 31事業 ⇒ 募集期間終了事業 30事業 (うち目標達成事業30事業)

② 資金調達額 34,431,000円 (30事業・平均達成率153%)

*現在募集中の1事業を加えると支援総額は 35,753,000円

③ これまでの実績

平成26年度(12/24～)

3事業／3事業 2,104,000円

平成27年度

12事業／12事業 11,708,000円

平成28年度

10事業／10事業 13,213,000円

平成29年度 *1事業募集中

5事業／5事業 7,406,000円

4 市民生活向上・本市発展のための新しい取り組み<新規事業は69事業>

(1) 民間の力でより効率的・効果的な市民サービス！

「窓口業務民間委託事業」

限られた財源と職員を有効活用し、民間のノウハウを活用して柔軟で質の高い市民サービスを提供するため、市民窓口課の窓口業務を民間事業者に委託します。（主 p1 No. 13）

(2) J K課による地域イノベーションを全国へ発信！

「J K課イノベーション全国発信プロジェクト」

全国高校生サミットへの参加や連携協定を締結した大学で事例発表を行うとともに、2018年度グッドデザイン賞受賞を目指します。また、J K課と市民・移住者等が集う場を設け、本市のイメージ向上と交流人口増加を目指します。（主 p2 No. 27）

(3) ワークライフバランスを推進する企業を応援します！

「選べるワークスタイル推進事業」

あらゆる人々が自分の能力・希望に合った働き方を選択できるように、新しい働き方やワークライフバランスを実践している企業、団体、個人の取り組みを表彰・広報し雇用の創出を促し離職率の軽減化を目指します。（主 p2 No. 39）

(4) 災害対応、情報伝達を迅速化！「防災対応策強化事業」

防災業務支援サービスを導入し様々な気象情報を得ることで、簡易に災害対応判断を行えるようにすることで、適切かつ住民へ迅速な情報伝達を行える体制を整えます。

（主 p3 No. 43）

(5) 鯖江への移住促進！「移住・定住ガイドブック作成事業」

鯖江での生活感や移住支援制度をまとめたガイドブックを作成し、本市への移住・定住をPRします。また、転入者へのアフターフォローや外から見た本市の感想を得るためアンケートを行い、今後の活動のヒントにします。（主 p3 No. 61）

(6) あの「ゆるい移住」がパワーアップ！「『ゆるい移住』情報発信事業」

全国に先駆けて実施した「ゆるい移住」参加者のその後と、今後発展する「ゆるい移住」について情報発信を行うことで、「さばえ」の知名度向上と本市への移住・定住の促進を目指します。（主 p3 No. 62）

(7) ストラップで鯖江の魅力PR！「ネクストラップで広げるめがねのまちさばえ事業」

鯖江市オリジナルデザインのネクストラップを作成し、鯖江市役所の全職員が着用して市の魅力を発信するとともに、民間企業にも着用を呼びかけ、オール鯖江で全国へ本市の魅力をPRします。（主 p3 No. 64）

(8) 「目」に注目、産まれよ未来のアスリート！「眼育（めいく）SABAE」

本市が既に実施している目の体操などを「眼育」として全国にモデル発信し、目の健康を広く推進します。また、中学校にビジョントレーニングの機械を導入し、スポーツの競技力向上と生徒の目の問題改善に取り組みます。（主 p4 No. 66）

(9) めがねのまちさばえを未来へつなぐ！「持続可能な地域推進事業」

本市に先人から伝わる素晴らしい地域資源やお互い様の市民性を未来につなぐため、資産やスキル等をシェア（共有）することで、共助により様々な地域課題の解決を図り、地域経済を活性化する「シェアリングエコノミー」の取り組みなどを推進します。（主 p4 No. 68）

(10) **最強の地下アイドル「仮面女子」とのコラボでさばえをプロモーション！**

「めがねのまちさばえ大使「仮面女子」とのコラボレーション事業」

めがねのまちさばえ大使に任命した「仮面女子」とコラボレーションし、市内および都市部を中心に、鯖江を舞台とした映画を製作し映画祭に出展するほか、ポスター、パンフレット、各種イベント出演などで鯖江市の効果的なプロモーション活動を行います。また、河和田アートキャンプでの米作りや消防のカラーガード隊ともコラボして新たな方策でのPR活動を行います。（主 p4 No. 72）

(11) **ふるさと納税でさばえの魅力を全国に発信！「ふるさと納税等PR事業」**

主に首都圏で開催されるふるさと納税イベント出展や首都圏・関西圏・中京圏向けの継続的な広告、イベントでのPR活動に加え、「さとふる」、「ANA」の新たなふるさと納税サイト利用などを行い、市の歳入確保だけでなく、返礼品やF×Gを通してさばえの魅力を全国に発信します。（主 p4 No. 74）

(12) **ITのまち鯖江だからこそできる！「プログラミング・フェス開催事業」**

気軽にプログラミングに親しむ体験実習を中心に、レクリエーションやものづくりなどを含めたイベントを開催して、子どもたちがプログラミングを楽しみながら学べる機会を提供します。（主p4 No. 83）

(13) **子どもの居場所を守ります！「ひとり親家庭児童学習支援事業」**

学習ボランティアによる学習会を開催し学習支援や進学相談等を行うことで、精神面・経済面で不安定になりがちなひとり親家庭の児童の居場所と学習の機会を守り、児童の健全育成と自立を促進します。（主 p5 No. 105）

(14) **託児のニーズに応えます！「子育て支援センター一時預かり事業」**

子育て家庭のニーズに応じた決め細やかな支援をするため、現在行われている保育所等での一時預かりに加えて子育て支援センターにおいても一時預かりを実施します。（主 p6 No. 128）

(15) **育て！未来の鯖江を担う企業家！**

「鯖江の技PR事業（キッズ・カンパニー in SABAE）」

ものづくりのまちである本市の子どもたちに、起業体験プログラムを実施し、子どもたちに企業意識を持ってもらい、将来的な起業家を育成するとともに、本市の産業発展を目指します。（主 p8 No. 178）

(16) **鯖江の企業へいらっしやい！「鯖江“育職住”プロジェクト」**

市内企業の仕事内容や経営理念、インタビューなど企業の魅力を紹介するウェブサイト「さばえの仕事図鑑（仮）」を立ち上げて情報発信することで、鯖江市内への就労のPRを行うとともに、労働人口、定住人口の増加に繋がります。（主 p8 No. 180）

(17) **連携協定を結んだ大学等で鯖江をPR！**

「学生と大学が繋ぐ鯖江ブランド発信事業」

鯖江ブランドの認知度向上のため、連携協定を締結した各大学におけるホームカミングデー等のイベントにあわせて市の地場産品・地場産業のPRを行うとともに、学生や教授との交流を通じて、今後の連携施策づくりを推進します。（主 p9 No. 185）

(18) **スイーツのまちさばえを全国に発信！「さばえ菓子博」**

さばえもみじまつり期間にあわせて「さばえ菓子博」を開催し、「お菓子・スイーツのまちさばえ」としての新たなブランドイメージを市内外へ浸透させ、今後の市内各店舗への誘客を促します。（主 p9 No. 189）

(19) 自然に恵まれたまちさばえ！「野鳥が飛びかうまちづくり整備事業」

コウノトリなど野鳥の定着を目指して推進団体の支援や巣塔・水田魚道などの整備を行います。また、地区や学校と連携して本市の環境保護活動を推進していきます。
(主 p11 No. 249)

(20) もったいない食品ロス削減へ！「持続可能な循環型社会構築への啓発事業」

小売店・飲食店・家庭等から排出される食品ロスを削減するため、環境啓発グッズ販売や飲食店・小売店と連携して普及啓発活動を行い、ごみ排出量の削減とリサイクル率の向上を目指します。(主 p12 No. 254)

(21) 美しいまちさばえで国体参加者をおもてなし！「道路美化補装繕事業」

福井国体に訪れる多数の来訪者に対し、「美しいまちさばえ」を印象付けられるよう、植樹柵への高木やつつじ等の植栽、道路の補修を行うことで、国体重点路線等の美化保全に努めます。(主 p13 No. 278)

(22) 英語で遊びグローバルな人材を育てる！「英語に親しむ活動事業」

グローバルな人材を育成するため、国際理解教育の一環として外国人講師の英会話による授業を実施して英語に親しむ活動を拡大することで、小学校段階での英語教育の充実を目指します。(主 p15 No. 333)

(23) 教員の負担を軽減！「学校運営支援員配置事業」

教員のサポートスタッフを配置し、負担軽減を図ることで、教員が児童に向き合う時間の確保や教材研究等に注力できる体制を整備します。(主 p16 No. 342, 362)

(24) 育て！国際人！「英字新聞購読事業」

各中学校で主要全国紙の英字新聞を購読し、授業に活用することで実際に使われている日常的な英語に触れ、生徒の語学力向上や英語そのものへの関心を高めます。
(主 p16 No. 358)

(25) 教員の負担をサポート！「部活動指導員配置事業」

中学校の部活動の指導や大会への引率等を行う部活動指導員を各中学校に配置することで、経験の無い部活動の顧問をしている教員への支援や部活動が原因の中学校教員の多忙化を解消を目指します。(主 p16 No. 361)

5 歳出のポイント

平成30年度当初予算における特別枠事業

〇めがねのまちさばえ枠

本格的な人口減少社会を見据え、人口問題への対策を全庁的に推進するとともに、将来にわたり活力ある地域を維持し、市民が豊かで安心な生活を営むことができるよう、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保および魅力ある就業機会の創出を一体的に推進し、地方創生を具現化するために、「めがねのまちさばえ」枠を創設しました。**7事業**の提案があり、**7事業 23,320千円**を予算化しました。

【新規】 I o Tを活用した生産性向上研究事業 500千円

市内産業の生産性を向上させるための I o T技術活用について、大学等の指導の下で研究する活動を支援します。

【継続】 河和田アートキャンプ活動支援事業 1,100千円

めがねのまちさばえ大使とコラボレーションした事業を展開するほか、河和田地区の豊かな地域資源を活用したアートの事業を展開し、河和田地区の活性化を図ります。

【新規】 鯖江の技PR事業（キッズ・カンパニー in SABAE） 500千円

ものづくりのまちである本市の子どもたちに、起業体験プログラムを実施し、子どもたちに企業意識を持ってもらい、将来的な起業家を育成するとともに、本市の産業発展を目指します。

【継続】 お試しサテライトオフィスモデル事業 4,000千円

都市部でセミナーや企業訪問等を実施するとともに、夏季期間にお試しオフィスでのお試し勤務を行うことで、サテライトオフィス誘致を目指します。

【継続】 さばえブランド菜花米支援事業 14,120千円

いちほまれの苗を使ったさばえ菜花米を栽培するなど、差別化された「おいしいさばえ米づくり」をする取組みに対して支援します。

【新規】 クリヨウジさばえ三十六景プロジェクト 900千円

アニメーション作家クリヨウジから見たふるさとの思い出の情景を三十六景として制作します。

【新規】 市民参加型演劇「おしよりん」開催業務委託 2,200千円

増永五左衛門を描いた小説「おしよりん（原作/藤岡陽子）」を市民参加型演劇として上演します。

○シティプロモーション推進枠

マスコミやSNSの活用、イベントの開催等により、眼鏡産業をはじめとする豊かな地域資源に更なる磨きをかけ、本市の地域イメージを向上させ新たな経営資源の獲得を目指す取り組みや、市民に「ふるさと鯖江」を再認識してもらうための事業をより推進していくために創設した「シティプロモーション推進枠」には、**22件の提案**があり、**21件 53,252千円**を予算化しました。

【新規・F×G】JK課イノベーション全国発信プロジェクト 1,200千円

全国高校生サミットへの参加や連携協定を締結した大学で事例発表を行うとともに、2018年度グッドデザイン賞受賞を目指します。また、JK課と市民・移住者等が集う場を設け、本市のイメージ向上と交流人口増加を目指します。

【新規】シティプロモーション推進事業 640千円

市の地域イメージ向上や新たな経営資源獲得、市民にふるさと鯖江を再認識してもらうためのシティプロモーション活動を推進します。

【新規】公開番組開催事業 160千円

全国放送される公開番組を市で収録し、市の魅力を全国に向けて発信します。

【新規】移住・定住ガイドブック作成事業 1,000千円

鯖江での生活感や移住支援制度をまとめたガイドブックを作成し、本市への移住・定住をPRします。また、転入者へのアフターフォローや外から見た本市の感想を得るためアンケートを行い、今後の活動のヒントにします。

【新規】「ゆるい移住」情報発信事業 940千円

全国に先駆けて実施した「ゆるい移住」参加者のその後と、今後発展する「ゆるい移住」について情報発信を行うことで、「さばえ」の知名度向上と本市への移住・定住の促進を目指します。

【継続・F×G】めがねのまちさばえ感謝祭開催事業 6,000千円

吹奏楽フェスティバルとめがねフェスを合同開催し、「めがねのまちさばえ」をより広く情報発信します。

【新規・若手】ネクストラップで広げるめがねのまちさばえ事業 500千円

鯖江市オリジナルデザインのネクストラップを作成し、鯖江市役所の全職員が着用して市の魅力を発信するとともに、民間企業にも着用を呼びかけ、オール鯖江で全国へ本市の魅力をPRします。

【新規】眼育・メイク・Make 200千円

めがねのまちさばえ感謝祭の会場内に眼の健康やものづくり、メイクに関する展示・体験コーナーを設置します。

【新規】眼育（めいく）SABAE 5,430千円

本市が既に実施している目の体操などを「眼育」として全国にモデル発信し、目の健康を広く推進します。また、中学校にビジョントレーニングの機械を導入し、スポーツの競技力向上と生徒の目の問題改善に取り組みます。

【継続・F×G】大人ファーストさばえ記念事業 6,000千円

新成人が鯖江の良さを再認識するきっかけとして、成人式で記念品を贈呈します。

【新規・F×G】めがねのまちさばえ大使「仮面女子」とのコラボレーション事業
10,000千円

めがねのまちさばえ大使に任命した「仮面女子」とコラボレーションし、市内および都市部を中心に、鯖江を舞台とした映画を製作し映画祭に出展するほか、ポスター、パンフレット、各種イベント出演などで鯖江市の効果的なプロモーション活動を行います。

【継続】めがねのまちさばえDAY
6,000千円

京セラドームで「めがねのまちさばえDAY」を2日間通して設け、鯖江をPRするほか、市長とオリックスの監督・選手との対談、小学生へのスポーツ教室を開催します。また、女子野球とコラボするなど、より一層めがねのまちさばえの知名度向上を図ります。

【新規・若手】ふるさと納税等PR事業
3,000千円

主に首都圏で開催されるふるさと納税イベント出展や首都圏・関西圏・中京圏向けの継続的な広告、イベントでのPR活動に加え、「さとふる」、「ANA」の新たなふるさと納税サイト利用などを行い、市の歳入確保だけでなく、返礼品やF×Gを通してさばえの魅力を全国に発信します。

【新規】プログラミング・フェス開催事業
1,080千円

気軽にプログラミングに親しむ体験実習を中心に、レクリエーションやものづくりなどを含めたイベントを開催することで、子どもたちが楽しみながら成長できる機会を提供します。

【新規】めがねのまちさばえ応援商品開発支援事業
800千円

めがねのまちさばえを応援・PRする商品の開発費用を支援します。

【新規】鯖江“育職住”プロジェクト
2,500千円

市内企業の仕事内容や経営理念、インタビューなど企業の魅力を紹介するウェブサイト「さばえの仕事図鑑（仮）」を立ち上げて情報発信することで、鯖江市内への就労のPRを行うとともに、労働人口、定住人口の増加に繋がります。

【新規・若手】学生と大学が繋ぐ鯖江ブランド発信事業
1,000千円

連携協定を締結した各大学における鯖江ブランドの認知度を向上させるため、ホームカミングデー等にあわせて市のPRを行います。また、教授や学生等、大学関係者との交流を通してさまざまな分野の研究活動に触れ、今後の市の施策につなげていきます。

【新規】めがねのまちさばえPR隊パワーアップ事業
3,000千円

市の公式キャラクター、ウルウル・メガメガの着ぐるみリニューアルとPRグッズ充実を行い、県内外に効果的な情報発信をします。

【新規・若手】着地型観光商品開発・シティプロモーション連携事業
1,500千円

さくら周遊バス、さばえの魅力発見バスなど、着地型観光商品として運行するバスツアーや、市のシティプロモーション推進事業と連携して実施する鯖江観光協会の新たな活動を支援します。

【新規】青少年健全育成NHK巡回ラジオ体操事業
500千円

各地区で行っている「さばえ市民ラジオ体操デー」を、全国に放送されるNHK巡回ラジオ体操として1箇所集約して開催します。

【継続】近松が生まれたまち発信事業
1,802千円

「近松の生まれ育ったまち」として鯖江を全国にPRし、市の知名度向上に努めます。

○持続可能な地域モデル枠

国連が掲げる地球規模の取組みである「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念の下、ものづくりのまちである「めがねのまちさばえ」が持続して発展していけるよう、地場産業の成長分野への進出を支援するとともに、これまでものづくり産業を支えてきた女性の更なる活躍を推進します。併せて、環境にやさしいまちづくりや健康福祉のまちづくり、シェアリングエコノミーの推進にも積極的に取り組んでいきます。これら「持続可能な地域モデル事業枠」として、**30件 138,380千円**を予算化しました。

●内発的イノベーションの推進

【継続】成長分野技術確立支援事業 15,000千円

医療やウェアラブル端末等、成長分野への参入を目指した加工精度向上や量産技術確立する為の施策開発を支援します。

【継続】成長分野販路開拓支援事業 15,000千円

成長分野への参入を目指す企業が取り組む国内外の見本市出展等を支援することで、販路開拓を促します。

【継続】成長分野産学官連携推進支援事業 5,000千円

成長分野への参入を目指す中核企業が取り組む産学官連携を支援することで、将来的な技術優位性を育むことを目指します。

【継続】鯖江の頑張るリーダー企業応援事業補助金 20,000千円

先見性のあるものづくり事業、それを支えるひとつづくり事業、市場開拓事業や海外有力小売店と連携した商品開発、テスト販売にチャレンジする企業等を支援します。

【継続】「めがねのまち鯖江」元気再生事業 24,000千円

眼鏡、漆器、繊維産業を中心とする域内産業の元気再生を目的に、産学官金が一体となって取り組む事業を支援します。

●女性活躍（市民主役のまちづくり）の推進

【継続】ワーク・ライフ・バランス推進事業 460千円

仕事と家庭が両立できる環境の充実に取り組む事業所や個人を表彰するとともに、業務改革を個別に判断して企業の働き方改革を促します。

【継続】女性の人権相談事業 2,927千円

DV被害など女性が相談しやすい体制を整えることで、すべての市民が安心して暮らせるようにします。

【新規】女性の人権研修会開催事業 100千円

市民にDVの実態や対処法等を学んでもらうことで、DVに対する偏見の払拭や被害者の発見につなげ、DV被害の減少を図ります。

【継続・提案】男女共同参画推進事業 1,485千円

男女共同参画に関する情報誌の発行、男女共同参画推進フェスタや講座を開催し、男女共同参画社会を推進します。

【継続・提案】男女の社会参画促進事業 1,894千円

男と女共生講座の開催等を通して、男女共同参画社会の推進やワーク・ライフ・バランスの意識改革を進めます。

【継続・提案】「全国OCサミット in 鯖江」開催事業 560千円
全国でまちづくり活動を行う個人・団体等を鯖江市に集め、情報交換や意見交換等を行います。

【継続】輝く女性世界発信事業 4,300千円
鯖江の地域ブランドを積極的に発信するため、市の魅力のひとつである女性の活躍を映像番組として制作し、国内外に紹介します。

【新規】選べるワークスタイル推進事業 540千円
あらゆる人々が自分の能力・希望に合った働き方を選択できるように、新しい働き方やワークライフバランスを実践している企業、団体、個人の取組みを表彰・広報し雇用の創出を促し離職率の軽減化を目指します。

●環境にやさしいまちづくりの推進

【継続・提案】グリーンカーテン普及促進事業 594千円
グリーンカーテンを広く普及させることで、夏場の省エネと地球温暖化対策意識の高揚を図ります。

【継続・提案】さばECOストップ温暖化チャレンジ事業 540千円
「さばECOチャレンジファミリー」を市民より募集し、1家族1日2kgのCO₂削減に挑戦することで、各家庭での省エネルギーと意識啓発を図ります。

【継続】実のなる公園植樹祭事業 800千円
子どもたちの地球環境保全活動に対する意識を高めるために、全小学校を対象に大谷公園で植樹活動等を行います。

【継続】サケ放流事業 700千円
日野川漁協組合との連携により、サケを日野川に放流し、日野川へのサケの回帰を目指すとともに、事業を通じて環境への意識を高めます。

【新規】野鳥が飛びかうまちづくり整備事業 2,200千円
コウノトリなど野鳥の定着を目指し、推進団体の支援や巣塔・水田魚道などの整備を行います。

【継続】こどもエコクラブ活動支援事業 480千円
市内小中学校生の自発的な環境活動を支援し、環境に対する意識のさらなる向上や環境保全活動の推進を図ります。

【新規】持続可能な循環型社会構築への啓発事業 3,350千円
小売店・飲食店・家庭等から排出される食品ロスを削減するため普及啓発を行い、ごみ排出量の削減とリサイクル率の向上を目指します。

【継続】森林環境保全直接支援事業 6,550千円
森林の保育、間伐、作業道の整備等に関する経費を支援します。

●健康福祉のまちづくりの推進

【新規】準要保護家庭児童学習支援事業 200千円

準要家庭の児童の居場所づくりをするため、学習ボランティアによる学習支援や進学相談等を行います。

【継続】生活困窮者自立支援事業 5,263千円

生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施や住宅確保給付金の支給などを行います。

【継続】軽度生活援助事業 1,473千円

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯などに対して、軽度の日常生活上の援助を行うことで、自立した生活を継続できるよう支援します。

【新規】ひとり親家庭児童学習支援事業 3,900千円

学習ボランティアによる学習会を開催し学習支援や進学相談等を行うことで、精神面・経済面で不安定になりがちなひとり親家庭の児童の居場所と学習の機会を守り、児童の健全育成と自立を促進します。

【継続】母子自立支援員事業 2,492千円

母子自立支援員の配置により、ひとり親家庭の自立に向けた総合的な相談、情報提供等を行います。

●シェアリングエコノミーの推進

【新規】持続可能な地域推進事業 1,658千円

地域課題の解決や地域経済活性化を目指して実施する、シェアリングエコノミーなど本市の地域特性を活かした活動を推進します。

【継続】クラウドファンディング事業 4,774千円

地域活性化や、新技術・新商品のアイデアの具現化に活用できる資金調達手段として、クラウドファンディング「FAAVOさばえ」を運営します。

【新規】子育て支援センター一時預かり事業 1,140千円

子育て家庭のニーズに応じた決め細やかな支援をするため、現在行われている保育所等での一時預かりに加えて子育て支援センターにおいても一時預かりを実施します。

【継続】空き家再生等推進事業 11,000千円

事業者による市内空き家の有効利活用を促し、空き家再生、定住人口の増加、都市部からの企業進出や交流人口の増加を図ることを目的として改修費用の一部を補助します。

○若手職員チャレンジ枠

若手職員の政策形成能力および意識啓発を図るとともに、柔軟かつ自由な発想を活かすために創設した「若手職員チャレンジ枠」には、**5件の提案**があり、**5件 6,500千円**を予算化しました。

【新規・プロモ】ネクストラップで広げるめがねのまちさばえ事業 500千円

鯖江市オリジナルデザインのネクストラップを作成し、全職員が着用するとともに企業にも着用を呼びかけ、オール鯖江体制で市の魅力を発信します。

【新規・プロモ】ふるさと納税等PR事業 3,000千円

主に首都圏で開催されるふるさと納税イベント出展や首都圏・関西圏・中京圏向けの継続的な広告、イベントでのPR活動に加え、「さとふる」、「ANA」の新たなふるさと納税サイト利用などを行い、市の歳入確保だけでなく、返礼品やF×Gを通してさばえの魅力を全国に発信します。

【新規・プロモ】学生と大学が繋ぐ鯖江ブランド発信事業 1,000千円

連携協定を締結した各大学における鯖江ブランドの認知度を向上させるため、ホームカミングデー等にあわせて市のPRを行います。また、教授や学生等、大学関係者との交流を通してさまざまな分野の研究活動に触れ、今後の市の施策につなげていきます。

【新規】観光案内所リニューアル事業 500千円

JR鯖江駅構内にある観光案内所をリニューアルすることで、鯖江観光の窓口としての機能を強化し、より利用しやすい環境づくりを行います。

【新規・プロモ】着地型観光商品開発・シティプロモーション連携事業

1,500千円

さくら周遊バス、さばえの魅力発見バスなど、着地型観光商品として運行するバスツアーや、市のシティプロモーション推進事業と連携して実施する鯖江観光協会の新たな活動を支援します。

○福井しあわせ元気国体に向けたまち美化推進枠

平成30年に開催される福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会に向けて、本市を訪れる人々を笑顔でお迎えするために創設した「福井しあわせ元気国体に向けたまち美化推進枠」には、**11件の提案**があり、**11件 46,272千円**を予算化しました。

【新規】健康福祉センター駐車場整備工事 **3,500千円**
健康福祉センター駐車場を整備し、来訪者の安全の確保と環境美化を行います。

【継続・提案】街なか彩り推進事業 **250千円**
観光客等が増加すると考えられる西山公園周辺や中心市街地エリアの景観向上のため、植栽枠や花壇に花を植えることで、街なかに彩りをもたらします。

【継続】商店街等活性化推進事業 **4,334千円**
中心市街地の公共空間の環境整備をすることで、観光客や地元住民が立ち寄りやすい空間づくりをします。

【新規】うるしの里かわだ灯籠修繕事業 **1,188千円**
うるしの里かわだ灯籠を再塗装・修繕することで、産地・河和田への誘客を図ります。

【継続】まち美化活動推進事業 **500千円**
市民、市民団体、事業所等が行う、道路や公園などの公共空間の美化活動に対して支援することで、市民との協働による美しいまちづくりを行います。

【継続・提案】まち美化活動表彰事業 **200千円**
まち美化活動に積極的に取り組む地区や町内会を表彰することで、市民との協働による美しいまちづくりを行います。

【新規】植樹枠および歩道美化管理委託 **6,000千円**
植樹枠や歩道の草刈り等を行い、美しいまちづくりをします。

【新規】車道美化管理委託 **6,000千円**
スーパーによる車道清掃を行うことで、国体重点路線を中心とした車道の美化保全に努めます。

【新規・F×G】道路美化補装修繕事業 **14,000千円**
空植樹枠に高木やつつじ等を植栽するほか、道路の補修を行うことで、国体重点路線等の美化保全に努めます。

【継続】勤労青少年ホーム国体美化推進工事 **5,000千円**
勤労青少年ホームと併設された体育センターの外観を整備し、環境美化に努めます。

【新規】福井国体会場整備工事 **5,300千円**
福井しあわせ元気国体・元気大会の開催に向けて市内スポーツ施設の美化整備を行い、訪れた方が気持ちよく過ごせる環境づくりをします。

クラウドファンディングを活用した事業

○クラウドファンディング「FAAVOさばえ」

クラウドファンディング「FAAVO（ファーブ）さばえ」を活用することで、個人・団体・企業等、市民が資金調達を行う場を提供し、市民の皆さんの夢の実現を応援します。

平成30年度は、市内企業等がふるさと納税のお礼品を開発する際の資金調達手段としても積極的に活用することで、お礼品の拡充と同時に市内経済の活性化に寄与します。

【市関連団体からの提案予定事業】

- ・西山動物園第4弾（西山動物園レッサーパンダ応援隊）
- ・鯖江市役所 JK課活動費

【個人・団体・企業等からの提案予定事業】

- ・新機能眼鏡の開発・製品化
- ・ふるさと納税お礼品をはじめとする新商品開発

○クラウドファンディング型ふるさと納税「F×Gさばえ」

一本一本の事業の中身に光をあて、市の特徴的な事業を紹介することで鯖江市への応援の気持ちをふるさと納税につなげる、クラウドファンディング型ふるさと納税「F×G（エフバイジー）さばえ」を活用し、ふるさと納税を推進します。平成29年度に引き続き、30年度も各部最低1事業を掲載することで、職員全員が市の営業マンとなり市のPRと歳入確保に努めます。

【総務部】 JK課イノベーション全国発信プロジェクト

【政策経営部】 大人ファーストさばえ記念事業

めがねのまちさばえ感謝祭

めがねのまちさばえ大使「仮面女子」とのコラボレーション事業

【健康福祉部】 ハーフバースデー

【産業環境部】 河和田アートキャンプ

【都市整備部】 国体に向けた美しいまちづくり事業（道路美化補装繕事業）

【教育委員会】 文化の館図書購入

提案型市民主役事業

市民主役のまちづくりに向けた取組みの一環として、提案型市民主役事業化制度により市の95事業を対象に選定、市民主役事業として提案を募集し、51事業に38団体から48件の提案がありました、審査会の結果、50事業を34団体に対して委託し、30,991千円を予算化しました。

【継続】 花によるまちづくりコンクール開催事業 560千円

【継続・持続】 「全国OCサミット in 鯖江」開催事業 560千円

【継続】 いきがい講座 4,800千円

【継続】 地産地消推進「さばえの味再発見」事業 450千円

【継続】 野菜ソムリエとのコラボによる地産地消啓発推進事業 323千円

【継続】 体育大好き支援事業（小学校・中学校） 2,187千円

【継続】 スポーツ教室開催事業（リスタート・フレッシュアップ事業） 650千円

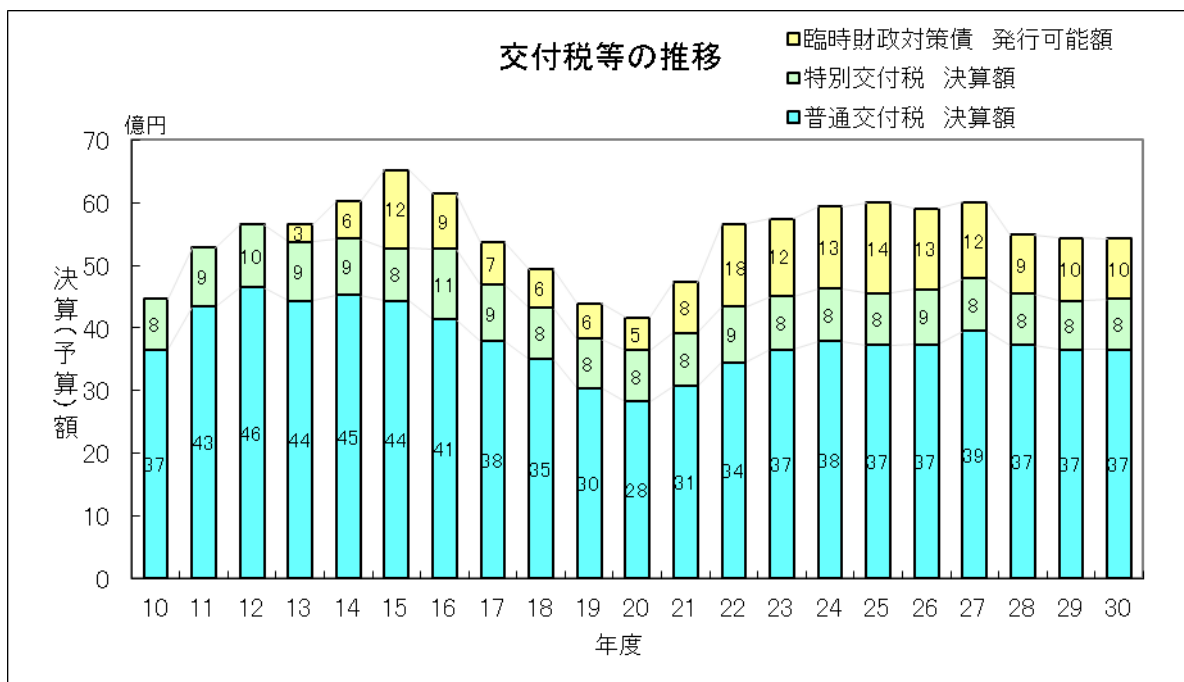
6 歳入のポイント

○市税収入 90億3,000万円 (1億2,000万円増、1.3%)

個人の給与所得が回復傾向のため、個人市民税は増額、市内企業の不安定感から法人市民税は減額を見込み、対前年度当初予算比1億2,000万円増の90億3,000万円を見込みました。

○地方交付税 44億6,000万円 (3,000万円増、0.7%)

- ・普通交付税 36億5,000万円 *平成29年度決算見込みおよび平成30年度地財計画を考慮し、前年同額の36億5,000万円を見込みました。
- ・特別交付税 8億1,000千円 *国体分の増加を見込みました。
*臨時財政対策債(9億6,500万円)を加えた実質的な交付税は54億2,500万円(対前年度当初予算比 1,500万円減)となりました。



*平成30年度は当初予算計上額

○市 債 22億9000万円 (8,840万円増、3.9%)

市債の当初予算計上額の比較

(単位: 千円、%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増減額	伸率
市 債	2,290,000	2,201,600	88,400	4.0
普通建設事業債	1,325,000	1,191,600	133,400	11.2
臨時財政対策債	965,000	1,010,000	△45,000	△4.5

○財源確保のために、ふるさと納税および「FAAVOさばえ」を積極的活用！

- ・平成29年度当初予算では、ふるさと納税は前年度に比べ1億3,000万円増の2億5,000万円を見込みました。(平成29年度当初予算は1億2,000万円でしたが、お礼の品の充実等により支援額の増加と利用するサイトを2つ増やすため。)
- ・全国の自治体で初めてクラウドファンディングの運営主体となった「FAAVOさばえ」を積極的に活用し、市の事業の財源確保に努めるほか、市民の皆さんに資金調達を行う場を提供し、夢の実現を応援します。

7 平成30年度 鯖江市一般会計当初予算の状況

一般会計歳入の状況

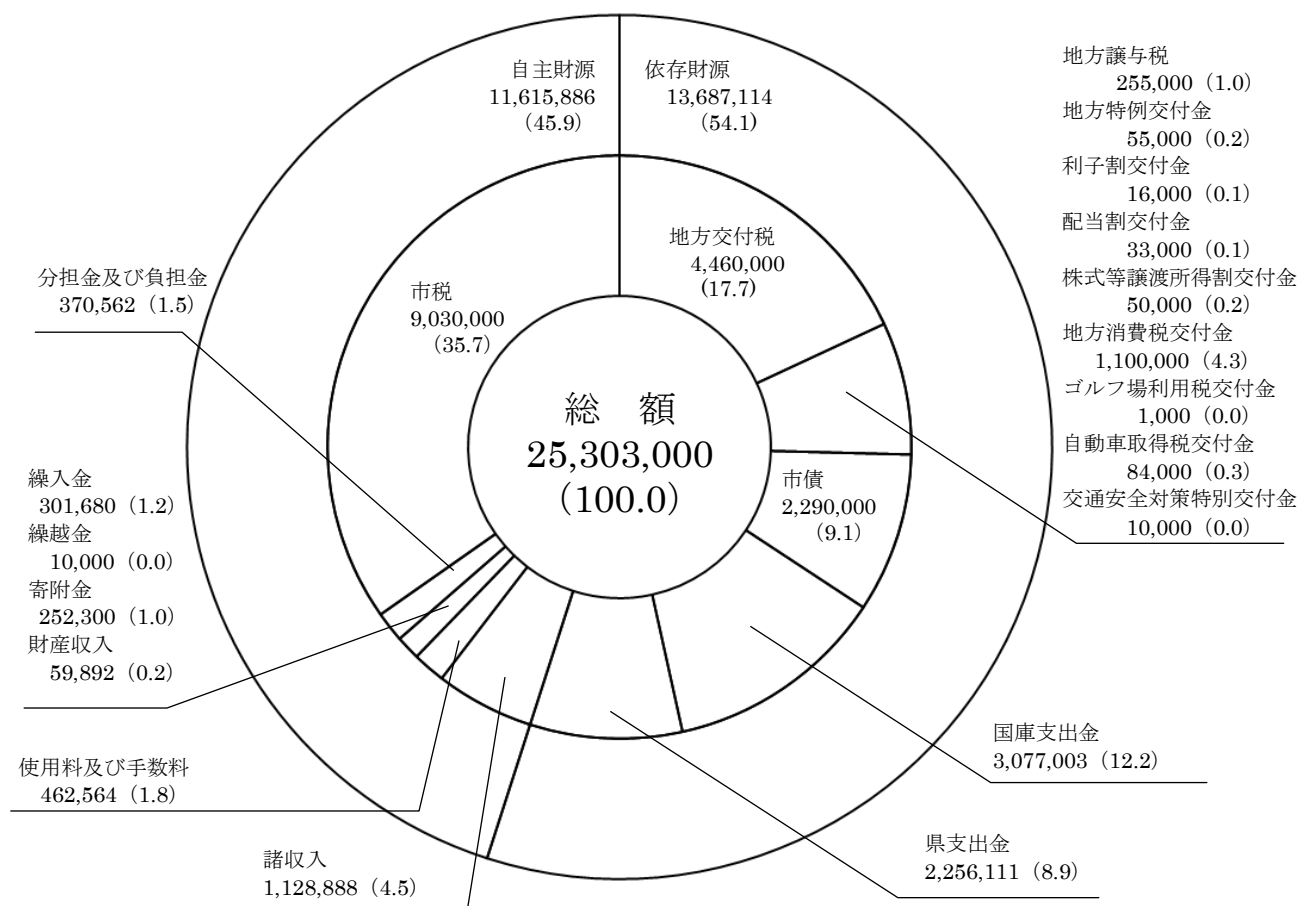
(1) 歳入の内訳

(単位：千円・％)

区 分	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
市 税	9,030,000	35.7	8,910,000	35.6	120,000	1.3
地 方 譲 与 税	255,000	1.0	250,000	1.0	5,000	2.0
利 子 割 交 付 金	16,000	0.1	7,000	0.0	9,000	128.6
配 当 割 交 付 金	33,000	0.1	42,000	0.2	△9,000	△21.4
株式等譲渡所得割交付金	50,000	0.2	46,000	0.2	4,000	8.7
地 方 消 費 税 交 付 金	1,100,000	4.3	1,200,000	4.8	△100,000	△8.3
ゴルフ場利用税交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
自動車取得税交付金	84,000	0.3	68,000	0.3	16,000	23.5
地 方 特 例 交 付 金	55,000	0.2	46,000	0.2	9,000	19.6
地 方 交 付 税	4,460,000	17.7	4,430,000	17.7	30,000	0.7
交通安全対策特別交付金	10,000	0.0	10,500	0.0	△500	△4.8
分 担 金 及 び 負 担 金	370,562	1.5	376,880	1.5	△6,318	△1.7
使 用 料 及 び 手 数 料	462,564	1.8	464,939	1.9	△2,375	△0.5
国 庫 支 出 金	3,077,003	12.2	3,063,631	12.3	13,372	0.4
県 支 出 金	2,256,111	8.9	2,193,962	8.8	62,149	2.8
財 産 収 入	59,892	0.2	58,420	0.2	1,472	2.5
寄 附 金	252,300	1.0	120,770	0.5	131,530	108.9
繰 入 金	301,680	1.2	201,600	0.8	100,080	49.6
繰 越 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
諸 収 入	1,128,888	4.5	1,293,698	5.2	△164,810	△12.7
市 債	2,290,000	9.1	2,201,600	8.8	88,400	4.0
合 計	25,303,000	100.0	24,996,000	100.0	307,000	1.2

(2) 歳入予算款別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 歳入の概要

自主財源は、市税等および寄附金の増加により、前年度当初予算と比較して1億7,958万円、1.6%の増となり、自主財源が歳入に占める割合は45.9%となりました。

※自主財源：市税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入で、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

(単位：千円・%)

区分	平成30年度 (A)		平成29年度 (B)		比較 (A) - (B)	伸率
	当初予算額	全歳入 構成比	当初予算額	全歳入 構成比		
1 市 税	9,030,000	35.7	8,910,000	35.6	120,000	1.3
2 繰入金	301,680	1.2	201,600	0.8	100,080	49.6
3 諸収入	1,128,888	4.5	1,293,698	5.2	△164,810	△12.7
4 その他	1,155,318	4.5	1,031,009	4.2	124,309	12.1
自主財源計	11,615,886	45.9	11,436,307	45.8	179,579	1.6

(4) 市 税

個人市民税については、給与所得に回復の兆しがみられることから、前年度と比較して4.6%の増で計上しました。

法人市民税については、市内企業の不安定感から、前年度当初予算と比較して9.3%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

区分		平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
個人市民税	現年課税分	3,379,000	3,223,000	156,000	4.8
	滞納繰越分	47,000	51,000	△4,000	△7.8
	計	3,426,000	3,274,000	152,000	4.6
法人市民税	現年課税分	653,000	720,000	△67,000	△9.3
	滞納繰越分	1,500	1,500	0	0.0
	計	654,500	721,500	△67,000	△9.3
固定資産税	土地(現年課税分)	1,288,000	1,290,000	△2,000	△0.2
	家屋(現年課税分)	1,838,000	1,868,000	△30,000	△1.6
	償却資産(現年課税分)	580,000	511,000	69,000	13.5
	その他(現年課税分)	10,000	10,000	0	0.0
	滞納繰越分	87,500	87,500	0	0.0
	計	3,803,500	3,766,500	37,000	1.0
軽自動車税、市たばこ税、都市計画税		1,146,000	1,148,000	△2,000	△0.2
合計		9,030,000	8,910,000	120,000	1.3

(5) 地方交付税

普通交付税は前年度と同額、特別交付税は福井国体開催の影響等で3,000万円の増と見込みました。

(単位：千円・%)

区分	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
普通交付税	3,650,000	3,650,000	0	0.0
特別交付税	810,000	780,000	30,000	3.8
合計	4,460,000	4,430,000	30,000	0.7

(6) 国庫支出金

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の増等により、前年度当初予算と比較して0.4%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
3,077,003	3,063,631	13,372	0.4

【主な増減内訳】

- ・社会資本整備総合交付金 123,577千円 → 182,195千円 (58,618千円)
- ・保育所等整備交付金 0千円 → 53,180千円 (53,180千円)
- ・児童手当負担金 906,799千円 → 879,666千円 (△27,133千円)
- ・道整備交付金 169,354千円 → 62,500千円 (△106,854千円)

(7) 県支出金

県支出金は、福井しあわせ元気国体開催補助金等の増により、前年度当初予算と比較して2.8%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
2,256,111	2,193,962	62,149	2.8

【主な増減内訳】

- ・福井しあわせ元気国体開催補助金 2,015千円 → 120,000千円 (117,985千円)
- ・子どものための教育・保育給付費負担金 252,845千円 → 270,774千円 (17,929千円)
- ・国民健康保険基盤安定負担金 201,044千円 → 171,612千円 (△29,432千円)
- ・集落基盤整備事業費補助金 140,000千円 → 99,281千円 (△40,719千円)

(8) 繰入金

繰入金は、元気さばえっ子・ゆめみらい債償還のための減債基金繰入金および教育振興基金繰入金の増により、前年度当初予算と比較して49.6%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
301,680	201,600	100,080	49.6

【主な増減内訳】

- ・減債基金繰入金 0千円 → 200,000千円 (200,000千円)
- ・教育振興基金繰入金 0千円 → 100,000千円 (100,000千円)
- ・財政調整基金繰入金 200,000千円 → 0千円 (△200,000千円)

(9) 市 債

普通建設事業債は平成25年度発行の元気さばえっ子・ゆめみらい債の借換債分2億円も含み13億2,500万円を計上しました。臨時財政対策債は9億6,500万円を計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
2,290,000	2,201,600	88,400	4.0

- ・普通建設事業債 1,191,600千円 → 1,325,000千円 (133,400千円)
- ・臨時財政対策債 1,010,000千円 → 965,000千円 (△45,000千円)

一般会計歳出(目的別)の状況

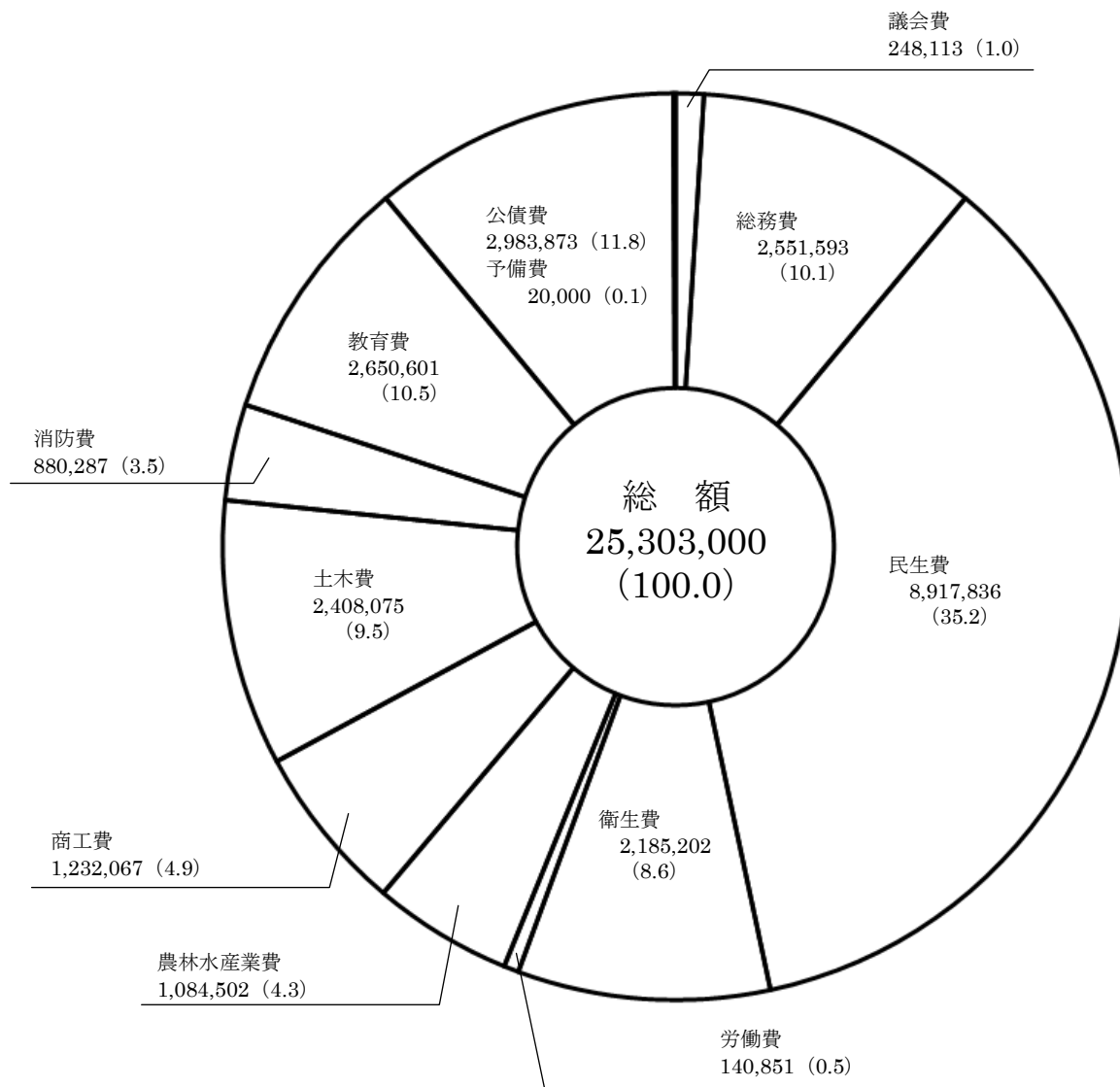
(1) 目的別内訳

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議 会 費	248,113	1.0	249,462	1.0	△1,349	△0.5
総 務 費	2,551,593	10.1	2,511,287	10.0	40,306	1.6
民 生 費	8,917,836	35.2	8,897,038	35.6	20,798	0.2
衛 生 費	2,185,202	8.6	2,251,434	9.0	△66,232	△2.9
労 働 費	140,851	0.5	133,087	0.5	7,764	5.8
農 林 水 産 業 費	1,084,502	4.3	1,246,285	5.0	△161,783	△13.0
商 工 費	1,232,067	4.9	1,495,281	6.0	△263,214	△17.6
土 木 費	2,408,075	9.5	2,372,213	9.5	35,862	1.5
消 防 費	880,287	3.5	856,611	3.4	23,676	2.8
教 育 費	2,650,601	10.5	2,221,002	8.9	429,599	19.3
公 債 費	2,983,873	11.8	2,742,300	11.0	241,573	8.8
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	25,303,000	100.0	24,996,000	100.0	307,000	1.2

(2) 歳出予算目的別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 目的別の概要

一般会計の歳出の内訳を目的別にみると、福井しあわせ元気国体・大会推進諸経費等の増加により教育費が、平成25年度発行の元気さばえっ子ゆめみらい債の償還等により公債費がそれぞれ増加しました。

一方、中小企業資金等預託金の減等により商工費が、県営事業負担金の減等により農林水産業費が、国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金の減等により衛生費がそれぞれ減少しました。

(4) 目的別の状況

① 議会費

・議員報酬 170,405 千円→ 169,428 千円 (△977 千円)

② 総務費

・福井鉄道福武線支援事業費 101,950 千円→ 49,550 千円 (△52,400 千円)
・コミュニティセンター施設整備費 6,450 千円→ 168,000 千円 (161,550 千円)
・減債基金積立金 151,500 千円→ 1,500 千円 (△150,000 千円)
・さばえの魅力発信事業費 62,710 千円→ 144,966 千円 (82,256 千円)

③ 民生費

・私立保育所運営事業費 1,636,360 千円→1,706,987 千円 (70,627 千円)
・都市再生整備計画事業費(認定こども園) 170,000 千円→ 0 千円 (△170,000 千円)
・小規模保育事業所整備費補助金 0 千円→ 59,828 千円 (59,828 千円)
・児童手当 1,300,000 千円→1,260,000 千円 (△40,000 千円)

④ 衛生費

・がん検診事業費 61,986 千円→ 71,566 千円 (9,580 千円)
・国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金 352,282 千円→ 300,234 千円 (△52,048 千円)
・国民健康保険事業特別会計財政安定化支援事業繰出金 30,000 千円→ 15,000 千円 (△15,000 千円)
・合併処理浄化槽設置費補助金 45,794 千円→ 55,999 千円 (10,205 千円)

⑤ 労働費

・勤労青少年ホーム施設整備費 0 千円→ 5,000 千円 (5,000 千円)

⑥ 農林水産業費

・土地改良事業費(県補助) 241,537 千円→ 179,897 千円 (△61,640 千円)
・土地改良事業費(単独) 10,900 千円→ 19,400 千円 (8,500 千円)
・県営事業負担金 187,495 千円→ 74,075 千円 (△113,420 千円)
・農業集落排水事業会計補助金 115,500 千円→ 151,000 千円 (35,500 千円)

⑦ 商工費

・地域産業振興補助金 12,900 千円→ 20,000 千円 (7,100 千円)
・中小企業融資利子等補給事業費 38,500 千円→ 25,205 千円 (△13,295 千円)
・地方の元気再生事業費 8,000 千円→ 24,000 千円 (16,000 千円)
・中小企業資金等預託金 902,894 千円→ 660,089 千円 (△242,805 千円)

⑧ 土木費

・ 地域再生道路整備事業費	353,300 千円→	131,250 千円 (△222,050 千円)
・ 社会資本整備総合交付金	101,200 千円→	267,750 千円 (166,550 千円)
・ 都市再生整備計画事業費 (土木課)	81,000 千円→	0 千円 (△81,000 千円)
・ 公共下水道事業会計補助金	223,700 千円→	319,600 千円 (95,900 千円)

⑨ 消防費

・ 消防組合負担金	850,681 千円→	875,026 千円 (24,345 千円)
-----------	-------------	-------------------------

⑩ 教育費

・ 都市再生整備計画事業費 (公民館)	6,000 千円→	165,500 千円 (159,500 千円)
・ 文化財保存整備事業費 (補助)	37,053 千円→	9,200 千円 (△27,853 千円)
・ 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業費 (補助)	95,000 千円→	22,000 千円 (△73,000 千円)
・ 福井しあわせ元気国体・大会推進諸経費	17,500 千円→	285,000 千円 (267,500 千円)

⑪ 公債費

・ 市債定時償還元金	2,540,140 千円→	2,804,324 千円 (264,184 千円)
・ 市債定時償還利子	199,140 千円→	176,099 千円 (△ 23,041 千円)

一般会計歳出(性質別)の状況

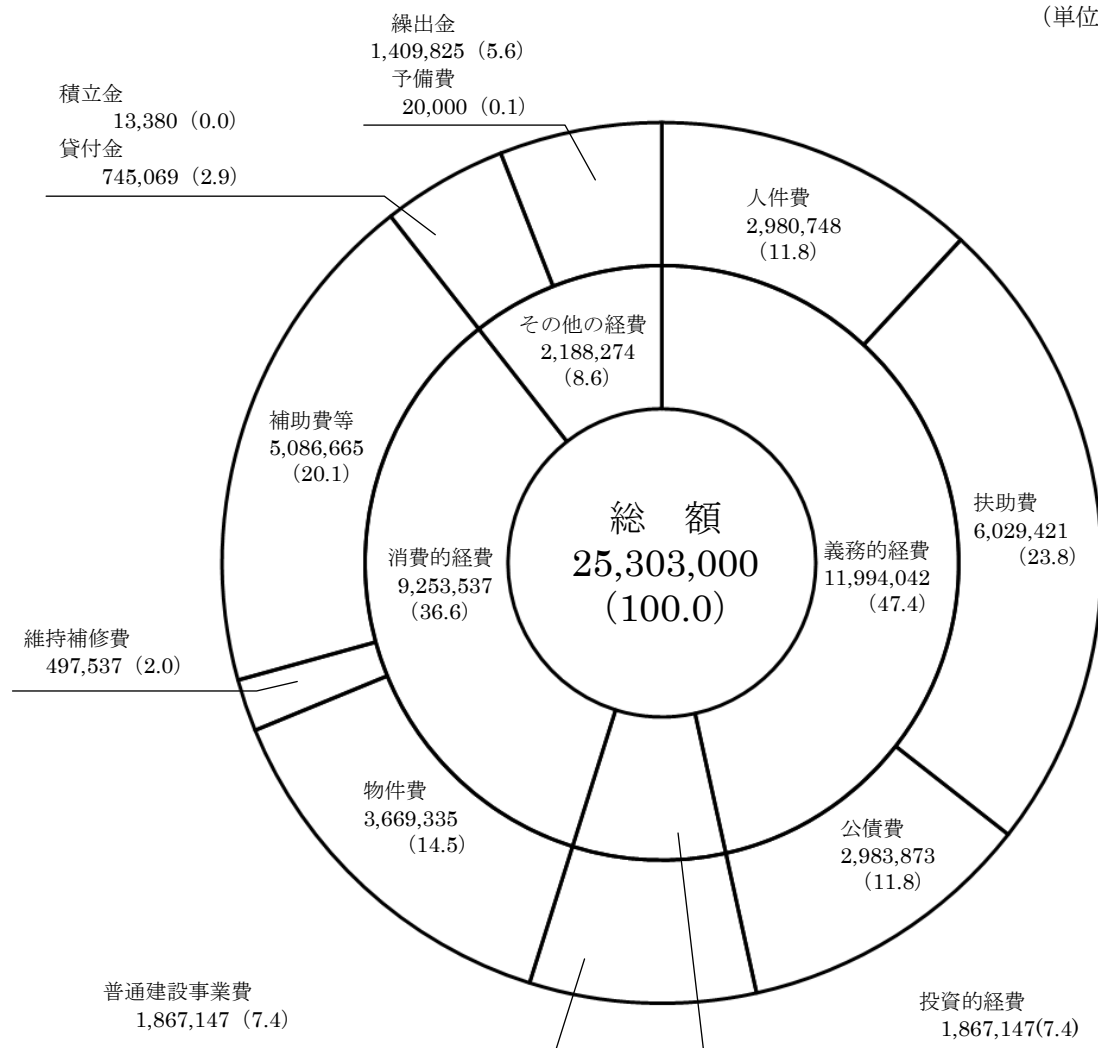
(1) 性質別内訳

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度		平成29年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人 件 費	2,980,748	11.8	2,972,487	11.9	8,261	0.3
物 件 費	3,669,335	14.5	3,482,504	13.9	186,831	5.4
維 持 補 修 費	497,537	2.0	478,771	1.9	18,766	3.9
扶 助 費	6,029,421	23.8	5,919,628	23.7	109,793	1.9
補 助 費 等	5,086,665	20.1	4,676,431	18.7	410,234	8.8
うち一部事務組合 負担金	2,557,279	10.1	2,523,042	10.1	34,237	1.4
公 債 費	2,983,873	11.8	2,742,300	11.0	241,573	8.8
普 通 建 設 事 業 費	1,867,147	7.4	2,079,294	8.3	△212,147	△10.2
補 助 事 業	819,499	3.2	1,070,947	4.3	△251,448	△23.5
単 独 事 業	786,543	3.1	626,570	2.5	159,973	25.5
県 営 事 業 負 担 金	169,702	0.7	290,374	1.1	△120,672	△41.6
国直轄事業負担金	91,403	0.4	91,403	0.4	0	0.0
積 立 金	13,380	0.0	163,300	0.7	△149,920	△91.8
貸 付 金	745,069	2.9	988,074	3.9	△243,005	△24.6
繰 出 金	1,409,825	5.6	1,473,211	5.9	△63,386	△4.3
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	25,303,000	100.0	24,996,000	100.0	307,000	1.2

(2) 歳出予算性質別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 性質別の概要

一般会計の歳出の内訳を性質別にみると、義務的経費では元気さばえっ子・ゆめみらい債満期一括償還による公債費の増等により、前年度当初予算と比較して3億5,963万円、3.1%の増となりました。

投資的経費は、地域再生道路整備事業の減等により、前年度と比較して2億1,215万円、10.2%の減となりました。

その他の経費では、物件費や補助費等の増により1億5,952万円、1.4%の増となりました。

(4) 性質別の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度 (A)		平成29年度 (B)		比 較 (A)-(B)	伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1 人 件 費	2,980,748	11.8	2,972,487	11.9	8,261	0.3
2 扶 助 費	6,029,421	23.8	5,919,628	23.7	109,793	1.9
3 公 債 費	2,983,873	11.8	2,742,300	11.0	241,573	8.8
義務的経費計	11,994,042	47.4	11,634,415	46.6	359,627	3.1
投資的経費 (普通建設事業費等)	1,867,147	7.4	2,079,294	8.3	△212,147	△10.2
その他の経費 (物件費等)	11,441,811	45.2	11,282,291	45.1	159,520	1.4
合 計	25,303,000	100.0	24,996,000	100.0	307,000	1.2

① 人件費

(単位：千円・%)

区 分	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
人 件 費 (一般会計)	2,980,748	2,972,487	8,261	0.3
人 件 費 (全会計)	3,066,542	3,074,205	△7,663	△0.2
うち退職手当 (退職見込数)	277,436 (12人)	245,001 (12人)	32,435	13.2
退職手当を除 いた人件費	2,789,106	2,829,204	△40,098	△1.4

*特別職、再任用職員を含む

〔職員数（一般職）〕

区 分	平成30年度	平成29年度	増減数
一 般 会 計	361人	372人	△11人
特 別 会 計	23人	24人	△1人
企 業 会 計	15人	15人	0人
合 計	399人	411人	△12人

* 特別職、再任用職員を含む

② 扶助費

公定価格の上昇による私立保育所運営事業の増、障がい者の自立支援のための施設生活支援事業の増などにより、対前年度比1億979万円、1.9%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
6,029,421	5,919,628	109,793	1.9

③ 公債費

平成25年度元気さばえっ子・ゆめみらい債(発行総額4億円)の満期一括償還等により、対前年度比2億4,157万円、8.8%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
2,983,873	2,742,300	241,573	8.8

- ・定時償還元金 2,540,140千円 → 2,804,324千円 (264,184千円)
- ・定時償還利子 199,140千円 → 176,099千円 (△23,041千円)

④ 普通建設事業費

地域再生道路整備事業の減、都市再生整備計画事業(認定こども園)の皆減などにより、対前年度比2億1,215万円、10.2%減で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
1,867,147	2,079,294	△212,147	△10.2

[主な増減要因]

【補助事業】

(単位：千円)

事業名	平成30年度	平成29年度	増減額
社会資本整備総合交付金事業	267,750	101,200	166,550
都市再生整備計画事業費(公民館)	165,500	6,000	159,500
都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業費(補助)	22,000	95,000	△73,000
都市再生整備計画事業費(認定こども園)	0	170,000	△170,000
地域再生道路整備事業費	131,250	353,300	△222,050

【単独事業】

(単位：千円)

事業名	平成30年度	平成29年度	増減額
コミュニティセンター施設整備費	168,000	6,450	161,550
北陸新幹線関連道路整備事業費	74,000	5,325	68,675
土地改良事業費(県補助)	179,897	241,537	△61,640

⑤ 物件費

保育所管理運営費の増などにより、対前年度比1億8,683万円、5.4%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
3,669,335	3,482,504	186,831	5.4

⑥ 維持補修費

駐車場施設維持補修費、道路除雪費などの増により、対前年度比1,877万円、3.9%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
497,537	478,771	18,766	3.9

⑦ 補助費等

福井しあわせ元気国体・大会推進諸経費などの増により、対前年度比4億1,023万円、8.8%増で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
5,086,665	4,676,431	410,234	8.8

〔主な負担金〕

(単位：千円)

事業名	平成30年度	平成29年度	増減額
広域衛生施設組合負担金	491,773	504,568	△12,795
公立丹南病院組合負担金	298,461	311,931	△13,470
消防組合負担金	875,026	850,681	24,345
福井県丹南広域組合負担金	237,816	219,728	18,088

⑧ 繰出金

国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計への繰出金の減により、対前年度比6,339万円、4.3%減で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
1,409,825	1,473,211	△63,386	△4.3

〔主な繰出金〕

(単位：千円)

会計名	平成30年度	平成29年度	増減額
介護保険事業特別会計介護給付費繰出金	639,580	644,870	△5,290
国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金	300,234	352,282	△52,048
国民健康保険事業特別会計財政安定化支援事業繰出金	15,000	30,000	△15,000

⑨ 積立金

減債基金積立金の減などにより、対前年度比1億4,992万円、91.8%減で計上しました。

(単位：千円・%)

平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
13,380	163,300	△149,920	△91.8

- ・財政調整基金積立金 8,000千円 → 8,000千円 (0千円)
- ・減債基金積立金 151,500千円 → 1,500千円 (△150,000千円)

8 平成30年度鯖江市当初予算における基金現在高

(単位：千円)

基 金 名		平成28年度末 現 在 高	平成29年度中移動		平成29年度末 見 込 額	平成30年度中移動		平成30年度末 見 込 額
			積立額	取崩額		積立額	取崩額	
一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	3,004,200	8,000	200,000	2,812,200	8,000		2,820,200
	減 債 基 金	622,100	251,500		873,600	1,500	200,000	675,100
	温 泉 施 設 整 備 基 金	82,000		14,000	68,000			68,000
	市 民 協 働 ま ち づ く り 基 金	1,500	1,600	1,600	1,500	1,680	1,680	1,500
	福 祉 基 金	290,510	1,500		292,010	1,500		293,510
	ふるさと水と土 保 全 対 策 基 金	10,990	50		11,040	50		11,090
	公 園 整 備 等 基 金	326,600	50		326,650	50		326,700
	教 育 振 興 基 金	177,800	600		178,400	600	100,000	79,000
計		4,515,700	263,300	215,600	4,563,400	13,380	301,680	4,275,100
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 基 金	900	66,300		67,200	93,000		160,200
	介 護 保 険 基 金	287,460	120,050		407,510	350	17,000	390,860
計		288,360	186,350		474,710	93,350	17,000	551,060
合 計		4,804,060	449,650	215,600	5,038,110	106,730	318,680	4,826,160

9 平成30年度鯖江市当初予算における市債現在高

(単位：千円)

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成29年度末 現在高見込額	平成30年度中増減見込額 (当初予算ベース)			平成30年度末 現在高見込額
			借 入 見込額	元金償還 見 込 額	繰上償還 見 込 額	
一般会計	26,276,062	26,375,122	2,290,000	2,804,324		25,860,798
うち普通債	15,122,214	14,936,584	1,325,000	2,030,684		14,230,900
うち臨財債	11,153,848	11,438,538	965,000	773,640		11,629,898
企業会計	27,701,089	26,765,959	963,500	1,922,543		25,806,916
水道事業	3,232,128	3,288,029	220,000	164,972		3,343,057
公共下水道	21,903,675	21,098,178	715,500	1,541,138		20,272,540
農業集落	2,565,286	2,379,752	28,000	216,433		2,191,319
合 計	53,977,151	53,141,081	3,253,500	4,726,867	0	51,667,714



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses